

# 都立多摩職業能力開発センター NEWS LETTER



## 今号の紙面

- 第1面 中小企業人材スキルアップ支援事業
- 第2面 現場訓練支援事業/オーダーメイド講習/実施例
- 第3面 経営者インタビュー⑫(株式会社葵製作所 代表取締役社長 長谷川 薫 氏)
- 第4面 認定職業訓練A-TBS 厚生労働大臣賞を受賞しました。/人材アドバイザーの企業訪問/たまねじくんの生徒作品ベストショット!

## 現場訓練支援事業

対象: 都内の中小企業(団体等含む)、企業(団体等)、企業(団体等)単位  
 場所: 自社の設備施設等  
 登録講師(指導支援者)をご紹介し、訓練時期・内容を調整後、訓練を貴社で行います。1名から実施が可能です。



費用負担: 以下の謝金を貴社と都が半額ずつ負担  
 訓練指導計画書作成 1回の支援につき6,600円  
 訓練指導実施 指導支援者1名・1時間7,000円  
 ※謝金以外の経費(材料代・テキスト代等)は全て会社負担

訓練時間: 年度内延べ40時間まで



## オーダーメイド講習

対象: 都内の中小企業(団体等含む)  
 企業(団体等)単位5名以上

場所: センター・各校の施設・設備を使用

授業料等: 受講生1名あたりの金額(900円~6,500円)を受講人数分(※講習の内容や時限数で異なります。)他に教科書代

講習時間: 14時限~24時限(1時限は45分)を2日~8日程度で実施

要望に応じて

センター校の施設



## 実施例

オーダーメイド講習と現場訓練支援事業を組み合わせて実施された企業をご紹介します。

### オーダーメイド講習

『金属塗装作業スタンダードコース』  
 3日間(24時間)受講者6名  
 【場所】多摩職業能力開発センター  
 【内容】有機溶剤、安全衛生等講義  
 スプレーガンの練習等

### 現場訓練支援事業

『金属塗装作業』  
 7日間(38時間)受講者7名  
 【場所】会社の工場  
 【内容】下地処理作業、塗装作業等

### 社長の声

オーダーメイド講習で座学を中心に勉強させていただきましたが、その実践応用を当社の現場で実施できたので、有益でした。

## 訓練経費を助成

## 中小企業人材スキルアップ支援事業

外部教育機関が実施するセミナーも助成の対象です!

東京都は、従業員教育・人材育成に取り組む都内中小企業・団体のみなさまを支援するため、従業員のスキルアップのための職業訓練を実施する中小企業・団体に対し、助成金を支給します。

社内で企画し、2人以上で実施する訓練は、**1人1時間当たり430円**を支給。  
 外部教育機関のセミナーを受講する場合は、**受講料等の半額を助成**します。  
 (3時間以上の訓練が対象、1人1コース当たり20,000円を上限)



### 社内型スキルアップ助成金

自社内で実施する短時間のOFF-JTによる職業訓練の経費を助成(同時かつ双方向で行うオンライン会議システムを利用した訓練も対象)

### 民間派遣型スキルアップ助成金

民間の教育機関が提供する短時間の集合型の訓練に対して行う職業訓練の経費を助成

### オンラインスキルアップ助成金

教育機関等が提供するeラーニングを活用した職業訓練の経費を助成

### 活用事例

営業提案力向上研修  
 品質管理・検査手法研修

### 活用事例

衛生管理者免許試験対策講習  
 情報システム構築研修

オンラインスキルアップ助成金の申請窓口は産業労働局 雇用就業部 能力開発課 認定訓練担当へ  
 TEL03-5320-4718

## お問い合わせ

○都立多摩職業能力開発センター(西立川)  
 042-500-8700(代)

たましょくぎょう

検索

○都立多摩職業能力開発センター八王子校  
 042-622-8201(代)

たましょくぎょう八王

検索

○都立多摩職業能力開発センター府中校  
 042-367-8201(代)

たましょくぎょう府中

検索

## イメージキャラクター



令和3(2021)年12月発行  
 都立多摩職業能力開発センター  
 人材育成課 技能担当  
 電話 042-500-8700

★ たまねじくんは、「多摩」とものづくりの「ネジ」からなる、多摩職業能力開発センターのイメージキャラクター♥  
 「ネジ」だけに、「技能と人」、「人と仕事」をガッチリとつなぎます!

★ たまねじくんは商標登録しています。

## こんにちは! 担当者の酒見(さけみ)です。

助成金の申請というと「面倒くさい」「難しそう」とよく言われるのですが、この助成金は、何より申請書面の作成が簡単な事が大きな特長です。実績の報告もレポート等も不要で、実に簡単に活用できるのです。もし、分からない点がございましたら、私にご連絡下さい。ご説明にお伺いいたします。その後も申請書面が完成するまでお付き合いさせていただきます。お気軽にご用命下さいませ。



※ 詳細は「TOKYOはたらくネット」でご覧になれます。  
<https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/jinzai/ikusei/kunren-josei/>

トップ > 企業の人材確保・育成 > 人材育成の支援 >

社内型・民間派遣型スキルアップ助成金(中小企業人材スキルアップ支援事業)



# 認定職業訓練校 A-TBS

## 厚生労働大臣賞を受賞しました！



▲受賞を喜ぶ来間社長(左)と事務の岡村さん(右)

東京都の認定職業訓練校A-TBSが、昨年度の都知事感謝状受賞に引き続き、長年の功績が認められ、令和3年度「職業能力開発関係厚生労働大臣表彰」厚生労働大臣賞を受賞しました。



**A-TBS(アポロータルビューティースクール)**  
八王子市万町23-2  
(美容科・理容科)平成23年4月認定

「職業能力開発関係厚生労働大臣表彰」とは、認定職業訓練や技能検定の実施、技能振興の推進に関して、長年にわたって多大な貢献があり、他の模範になる事業所・団体や、顕著な功績があった功労者を表彰する制度です。

認定職業訓練とは、事業主等が実施している職業訓練のうち、法令に定める基準等に適合している旨、都道府県知事が認定し、経費の一部について補助金の交付を受けられる制度です。

## 求人お待ちしています！

求人票に必要事項を記入の上、当該科目を設置している、多摩職業能力開発センター(西立川)、八王子校、府中校へFAX又は郵送でお申込みください。

求人票の書式は、多摩職業能力開発センター(西立川)・各校HPの「書式ダウンロード」からダウンロードしてご利用ください。

## 求人の申込方法



▲求人票書式ダウンロード

## 人材アドバイザーの企業訪問

人材アドバイザーとして、多摩地区を担当しております藤村です。人材アドバイザーは、現場訓練やキャリアアップ講座などの中小企業の従業員のスキルアップの支援や、センター・校で職業訓練を受けている生徒の紹介について、企業を訪問して、ご相談させていただいております。

お電話をくださいれば  
貴社にお伺いします。  
どうぞよろしくお願いいたします。

人材育成担当Tel  
042-500-8700



## たまねじくんの生徒作品ベストショット！



造園土木施工科の作品です。温泉旅館の入口みたい。

## 経営者インタビュー⑫

### ～人材育成、職業訓練等に関する”ホンネ”を聞く～

このコーナーでは、多摩地域の中小企業の経営者の方々に人材確保・人材育成などについてインタビューした内容の一部を紹介いたします。

第12回目となる今回は、株式会社葵製作所 代表取締役社長 長谷川 薫 氏 にご登場いただきました。

株式会社葵製作所

所在地：東京都八王子市石川町3216-7

創業：昭和46年4月

事業内容：各種大型筐体、ラック、架台、フレーム等の板金加工  
各種シャーシ、ケース類の精密板金加工  
機械加工類、アクリル等の樹脂加工  
その他付随するメッキ、塗装の処理加工、彫刻、

従業員数：21名



長谷川社長

Q1 採用に当たっては、どのような点を重視していますか。

「正直で素直な人」であるかどうかを重視しています。技術力は見えていません。技術力は採用後に習得してもらいますが、新しい技術を身に着ける対応力は必要です。時代に合わせて良い製品が作れるよう「一緒にものづくりができる」柔軟な思考を持った人を求めています

Q2 採用後の人材育成についてはどのように取り組んでいらっしゃいますか。

試用期間の3か月は、溶接、板金、レーザー加工など幅広い技術を体験させています。営業にも溶接を体験してもらうなど一通り会社の業務を体験してもらっています。その後、それぞれの部門に配属されますが、一つの分野での専門家ではなく「多能工」を目指しています。

かつての職人の教育では最近の若い人たちは育たないため、「伴走型」の教育を行っています。社員間のコミュニケーションを大切にし、わからないことを聞いてもらえる雰囲気づくりを醸成できるようにしています。

普段のコミュニケーション作りを大切にすることから、毎朝、社長みずから声掛けを行い、「社員が主人公である」という意識づけを行っています。

Q3 職業能力開発センターの魅力、期待はどんなところでしょうか。

会社に来てもらい人材育成ができる現場訓練は良い事業だと思っています。技術者だけでなく、営業でも3Dソフトが使えるなどの活用も考えており、これからも職業能力開発センターの各種事業を活用していきたいと考えています。

また、社内研修に適用できる中小企業人材スキルアップ支援事業は、1人1時間当たり助成単価をもう少し上げていただければより使いやすくなると思います。

Q4 これからの企業活動について、どのようにお考えですか。

技術をたゆまず継承し、なくてはならない存在であり続けることで、当社の加工技術を後世に残していきたいと思っています。

新しい技術にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。そのため、「金属製品の良さ」を実感してもらえる製品を作り、社会に発信していきたい。そのため、様々な壁を乗り越えられる人材を育てたい、だからこそ「元気な人」に来て欲しいと思っています。

長谷川社長、ありがとうございました！